

おおまごえ
大馬越地区コミュニティ協議会
TEL&FAX 0996(44)2773

共生・協働の 地域社会づくり

みんなが協力して知恵を 出し合う活気ある郷さとを目指して



薩摩川内市入来町の山間部にある大馬越地区コミュニティ協議会(約350世帯)は、薩摩川内市の合併を機に新たに小学校単位の自治組織として平成17年4月に設立されました。「何にもないけど、何でもできる」を合い言葉に、地区住民がさまざまな地域活性化に取り組んでいます。

平成18年度からは、団塊世代から高齢者まで延べ100人以上の地区住民で分担して、遊休農地などで栽培したシソを活用したシソジュース「しそっぶ物語」を製造・販売。今では毎年購入するリピーターも多いといえます。



しそっぶ物語で、住民同士のつながりがどんどん広がります。

「当初は、地区の活性化のためにシソジュースを販売するというアイデアは出たものの、実際の集荷や加工・販売方法についてのノウハウは持っていませんでした。全くの手探り状態の中、地区住民を巻き込み、たくさんの方の助けを借りながら、汗だくになって一歩ずつ乗り越えたことで、地区内に一体感が生まれました。今でも生産本数や在庫の調整などで苦労は絶えませんが、その分喜びも大きいです」と語るのは、コミュニティ協議会会長の水流信雄つるのぶおさん。

また同協議会では、川内川流域の環境保全活動などを行っているNPO法人川内川生きものクラブと連携。地区にある清浦きよら渓谷の遊歩道を整備し、親子川遊び教室を行うなど地区外の団体等との協働により自然を活用した交流の場づくりにも取り組んでいます。



地区内の「きんかんの里ふれあい館」でも、しそっぶ物語の直売をしています。

代表者からひとこと



左から副会長の黒武者雅文くろむしやまさふみさん、水流会長、コミュニティ主事の大原春美おおはらはるみさん

あなたの一言でもっとすばらしい発見ができるかもしれません。少しでも興味を持たれたら、迷わずお越しください。

「地区外の団体等の力を借りることで、地区住民には当たり前過ぎて気付かない地区の良さや、新しい人脈などを得ることができました。また、地区外の団体等との協働により自然を活用した交流の場づくりにも取り組んでいます。」

同協議会では、地区住民自身がまだ大馬越の良さを全て知り尽くしていないことから、地区内外の人々と協力して知恵を出し合い、歴史・自然・文化などあらゆる視点から自分たちの地区を見直し、新しい価値を再発見する活気ある郷さとを目指して日々頑張っています。

区外の団体等も、活動の場が新たに開拓・整備されたことで活動が活性化するなど、お互いに補完しあうことができていると水流さん。



清浦渓谷での沢登り

共生・協働の地域社会づくりや
NPO法人に関するお問い合わせ先

◎共生・協働推進課(県庁9階) TEL 099(286)2241
◎共生・協働センター(かごしま県民交流センター内) TEL 099(221)6613
関連情報は、県ホームページの「共生・協働(NPO・ボランティア)」にも掲載しています。